

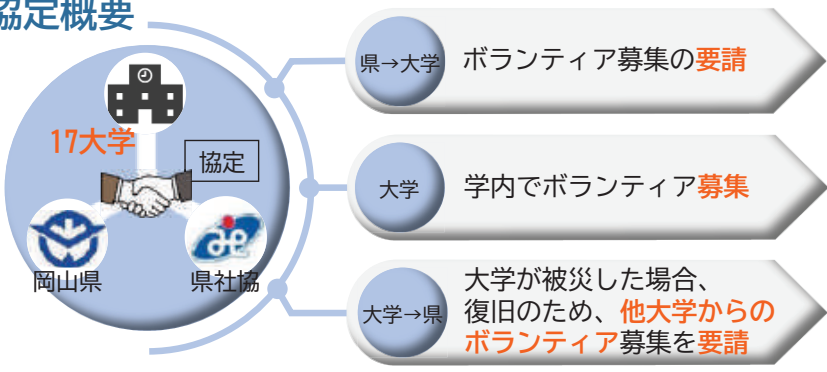


# 県・県社協 との三者による 災害時における被災者支援 ボランティアに関する協定



岡山県県民生活交通課  
☎ 086-226-7287 ✉ svco@pref.okayama.lg.jp

## 協定概要



- ### あらかじめ準備していただきたい内容
- ・大学内の担当部署はどこ？ 担当者はだれ？
  - ・関連する学内関係者（教員・サークル関係）はだれ？
  - ・関係者との緊急時の連絡体制は整っている？
  - ・どのようなツールで学生を募集する？
  - ・活動場所までの交通手段はどうする？
  - ・ボランティア保険の手続きのやり方は？
  - ・学生に貸し出す被服や物品として何が必要？
  - ・必要物品をどうやって確保する？

## 災害時のボランティア要請の流れ

### 県・県社協の事務



#### 協力要請

人数、活動内容、活動期間、活動地などの事項を記載した依頼文書を発出

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
↓

随時調整



岡山県県民生活交通課イメージキャラクター「ももるんじゃー」



### 大学の事務

#### ボランティア募集

学生・教職員にボランティア募集を行い、参加者を取りまとめ

#### 派遣準備

必要物品の準備、ボランティア保険の加入

#### 名簿提出

参加者名簿を随時提出



### 活動開始

### 想定される活動内容

#### 被災者宅

- ・被災家屋の泥出し
- ・がれきの撤去
- ・家財の搬出
- ・救援物資の配布

等

#### 災害ボランティアセンター

- ・被災者からの依頼の整理
- ・一般ボランティアの受付
- ・電話応対
- ・資機材の整理
- ・荷物の運搬

等

#### 避難所

- ・洗濯の手伝い
- ・炊き出し準備、配食作業
- ・救援物資の整理・配布
- ・話し相手
- ・子どもの遊び相手

等

### 協力実績

■平成30年7月豪雨



7/14~31  
延べ149人

環太平洋大学 様



岡山市  
災害ボランティアセンター(北区・東区)

荷物の運搬  
電話応対 等

平時から相互に連携するため、  
**毎年度、研修会**を開催しています。

ご利用シーン



**大学ボランティアセンター主催**  
 (学生スタッフ向け、一般学生向けで実績あり)



**教員主催**：正課授業のうちの1回分として  
 (社会福祉士や救急救命士の養成課程、オムニバス講座等で実績あり)



**学生課・学務課主催**  
 (履修説明会、サークル向け説明会等と合同実施の実績あり)



**学生主催**：サークルイベントとして

協定第5条第2項

学長は、積極的に大学内の防災意識の高揚と防災組織の整備を図るものとし、知事及び会長は、これに協力するものとする。

**研修会のプログラム (標準時間90分)** 協定締結者である県・県社協のほか、日本赤十字社岡山県支部にご協力いただいています。

**STEP 1 防災意識の向上**

**STEP 2 災害ボランティアの心構えを身に付ける**

**STEP 3 実際に体験する**



■講義名

- ・災害への備え
- ・防災図上訓練 (災害図上訓練「DIG」)

■内容

防災についての考え方を学び、自分の身を守るための平時からの備えの重要性を理解する。

■こんな方におすすめ

1年生、一人暮らしを始めたばかりの学生 など

**STEP 1 防災意識の向上**

**STEP 2 災害ボランティアの心構えを身に付ける**

**STEP 3 実際に体験する**



■講義名

- ・災害ボランティア入門編
- ・災害時の心のケア

■内容

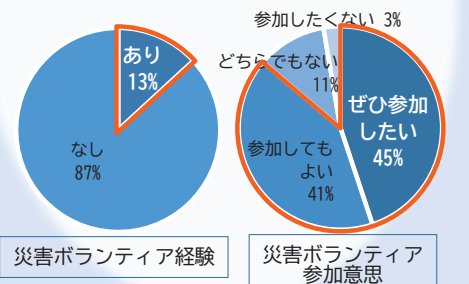
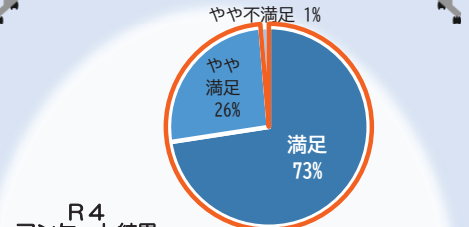
災害ボランティアの活動事例や心構えを学び、災害時に支援者として活動する意識付けを行う。

■こんな方におすすめ

全ての学生

R4 受講者 **9大学 169人**  
 総合満足度 **99%** (下グラフ)

過去10年間の実績  
 延べ82大学 4,360人



少人数から大人数まで



**STEP UP!**

**STEP 1 防災意識の向上**

**STEP 2 災害ボランティアの心構えを身に付ける**

**STEP 3 実際に体験する**



※決まったプログラムはありません。個別オーダーに応じて企画しますので、ご相談ください。

■内容

災害ボランティアセンター設置演習への参加  
 県主催「災害救援専門ボランティア研修」への参加

■こんな方におすすめ

大学ボランティアセンターの学生スタッフ  
 福祉を専門に学ぶ学生

**受講者の声**

- ・自分にできることを考えるきっかけになった。
- ・いざという時動ける行動力・発想力を磨きたい。
- ・力仕事だけでなく、様々なボランティアがあることを初めて知った。
- ・身近な人とコミュニティを持つことが、災害時にも役立つと分かった。

・災害を他人事とせず、まずは身を守るための備えをしたい。



岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

**主催いただいた大学ご担当者の声**

- ・コロナ禍で実際の活動機会がもてない中、ボランティアの重要性や心構えを学ぶ貴重な時間となった。
- ・大学として「学生の安全を守る」責任があり、自助の備えを呼びかけるよいきっかけになった。
- ・こうした啓発は継続的に行う必要があると考えているので、内容を変えながら各学年の授業に取り入れたい。
- ・研修会で終わらせるのではなく、受講メンバーを中心として、実際の地域での活動に発展させたい。